

## 解 説

## 村 田 武 雄

ハイデン (1732-1809) の「天地創造」(Die Schöpfung) について

「私は毎日神に祈りながらこの作曲をつづけた」とハイデン自身がいつている「天地創造」はヘンデルの「メシア」から影響されて、かれが六十六才のとき (1797-1798) に完成した、実に古今のオラトリオ中の傑作である。

歌詞はミルトンの「失樂園」と舊約聖書の「創世紀」からとり、創世の大業が七日にして完成するその過程を三部に書いたものである。

演奏はベース (アダム)、ソプラノ (イヅ)、ソプラノ (天使ガブリエル)、テナー (ウリエル)、ベース (ラファエル) の五人の独唱者のほかに、合唱と管絃樂とで行われる。

初演は1798年春行われ、その後各國で盛んに演奏されるようになった。

### 第一部 第一日から第四日まで

#### (第一日)

- ・管絃樂序奏—渾沌たる闇の世を現す。
- ・ベースの叙唱—天使ガブリエルの告示。
- ・合 唱—神光あれといひ給いければ光ありき。
- ・ベース 叙唱—ラファエルの叙唱、光明を告示。
- ・テナー 詠唱—天使ウリエルが創世第一日の來るを歌う。
- ・合 唱—闇から光に移る。地獄が消える。光明の日の當來。

#### (第二日)

- ・ベース 叙唱—天と地が分れ雷雨や雪がやつて來る。
- ・ソプラノ独唱と合唱—天使ガブリエルと天使の群、神の大業をたゞえる。

#### (第三日)

- ・ソプラノ叙唱と独唱—天使ガブリエルが陸と海、山と河、草と木、花と野の創造を讃える。
- ・テナー 叙唱—ウリエルが神の偉業の達成を告げる。
- ・合 唱—天使達が天地もゆるげとばかりに全體の神を讃美す。

#### (第四日)

- ・テナー 叙唱—ウリエルが晝夜の別の出來たことと星の出現を告示、太陽と月と星を表現する。
- ・ソプラノ、ベース、テナーの三重唱と合唱—神の子らが偉業を讃え、雄大なフーガとなる。偉大なる作品。

### 第二部 第四日から第六日まで

- ・ソプラノの叙唱と詠唱—天使ガブリエルが魚と鳥の誕生を告げる。
- ・ベースの叙唱とアリオソーと同じく魚の出現を述べる。

- ・ソプラノ、テナー、ベース、の独唱と三重唱と合唱—天使ガブリエル、ウリエル、ラファエルが大自然の讚美合唱と共に神の力を讃える。

#### (第五日)

- ・ベース 叙唱—ラファエルが野獸の出現を告示する。

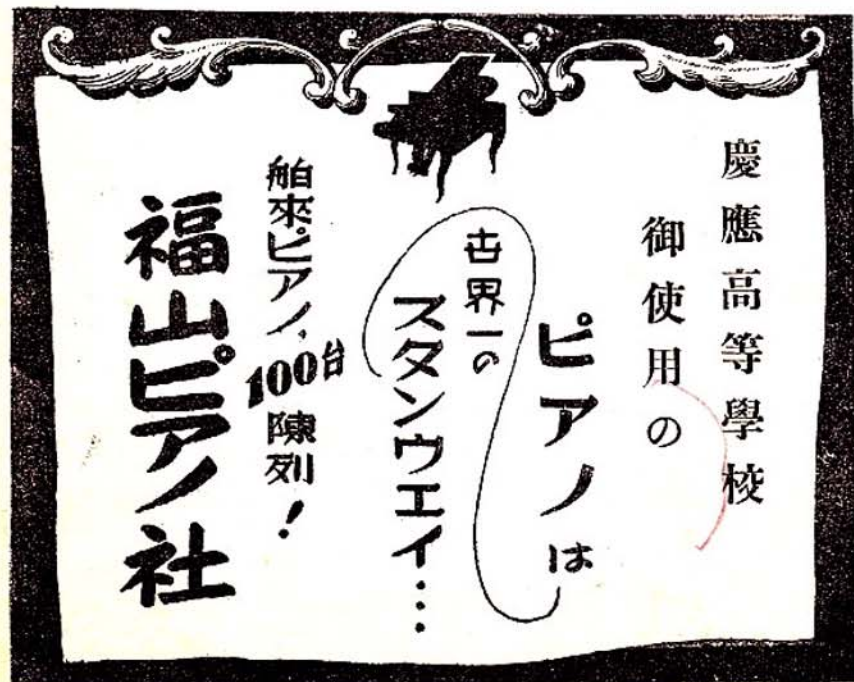
#### (第六日)

- ・テナー 叙唱と詠唱—ウリエルが人間創造を告示し、イヅがアダムを迎える歡喜を歌う。
- ・大合唱と三重唱—天と地と共に神の偉業の達成を祝してハレルヤを歌う。

### 第三部 第七日

#### (第七日)

- ・管絃樂序奏—天地の朝安息日である。
- ・ベースとソプラノ二重唱と合唱—アダムとイヅが神を讃美し、これに合唱が答える。
- ・ベースとソプラノの叙唱と二重唱—アダムとイヅの愛の囁きと二重唱。
- ・テナー 叙唱—完成と終止を告げる。
- ・大 合 唱—神の榮光の讚美、偉大なるフーガである。



慶應高等學校  
御使用の  
ピアノは  
古界一の  
スタンウェイ...  
100台陳列!  
福山ピアノ社